



ヒマラヤケシ

104 編は私の大好きな詩編の一つで、特に 1 連には魅了されます。詠み人知らずです。主題は「創造主なる主を賛美せよ」です。神の宮、壮大な宇宙、創造された世界、地の生き物、その中に満ちている神の知恵、神の息、聖霊を感じさせられます。地球は青い水の星だと感じる美しい詩編です。35 節からなる 8 連の詩です。賛美から始まり、賛美で終わります。わたしの魂よ、主をたたえよ。(1, 35)

1 連…主なる神

あなたは大いなる方。栄えと輝きをまとい／光を衣として身を被っておられる。(主の衣装は光である)

天を幕のように張り／天上の宮の梁を水の中にわたされた。(主の宮は水に梁を渡した天幕)

雲を御自分のための車とし／風の翼に乗って行き巡り／さまざまな風を伝令とし／燃える火を御もとに仕えさせられる。(主のマイカーは雲、エンジンは風、また、使者は風、侍従は火)

2 連…水と創造された地

主は地をその基の上に据えられた。(大地、生き物の住む所、地球は主の地を基礎としている)

水は山々を上り、谷を下り／あなたが彼らのために設けられた所に向かった。(水は主の意で働く)

3・4・7 連…主の水は命の水

野の獣はその水を飲み／野ろばの渴きも潤される。水のほとりに空の鳥は住み着き／草木の中から声をあげる。主は天上の宮から山々に水を注ぎ／御業の実りをもって地を満たされる。家畜のためには牧草を茂らせ／地から糧を引き出そうと働く人間のために／さまざまな草木を生えさせられる。

ぶどう酒は人の心を喜ばせ、油は顔を輝かせ／パンは人の心を支える。

海も大きく豊かで／その中を動きまわる大小の生き物は数知れない。(地の生き物は水によって生き、喜び、満たされ、安らう)

5 連…主の時に従う

主は月を造って季節を定められた。太陽は沈む時を知っている。あなたが闇を置かれると夜になり／森の獣は皆、忍び出てくる。太陽が輝き昇ると彼らは帰って行き／それぞれのねぐらにうづくまる。

人は仕事に出かけ、夕べになるまで働く。(全ての生き物は神の時を生きる)

6 連(24 節)・7 連(30 節)…主の霊に満たされた地

主よ、御業はいかにおびただしいことか。あなたはすべてを知恵によって成し遂げられた。地はお造りになったものに満ちている。(主の知恵による創造)

あなたは御自分の息を送って彼らを創造し／地の面を新たにされる。(主の息による創造)

8 連…全地、万物が主を賛美する。

ハレルヤ (願いが叶って有難い・賛美せよの意の歓呼)は詩編にのみ出てくる言葉でこれが最初です。

『讚美歌 21』では関連讚美歌が 15 曲と、最多です。いかにこの詩編が多くの人々に愛され、賛美されているかが分かります。426「私たちが生かす」 <https://sanbika.blog.ss-blog.jp/2012-03-09> が、20 世紀の人間の新しい感覚で賛美しています。ジュネーブ詩編歌は美しいリコーダーの重奏です。

<https://www.youtube.com/watch?v=nJP9F9tiq9k&list=PL15DF46D76CA72F5E&index=104>